

FUJIFILM

instax mini 99

Instant Camera

JP



使用説明書/安全にご使用いただくために

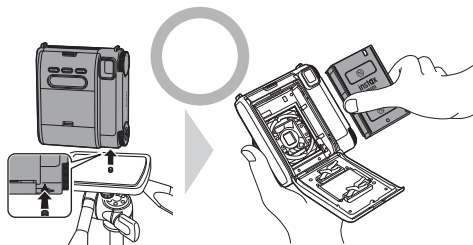
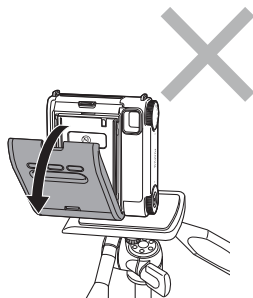
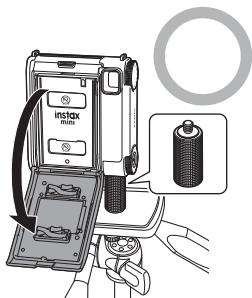
FI036-JP-01



フィルムバックの取り扱いに関する注意

JP フィルムを使い切るまでは、裏蓋を開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません

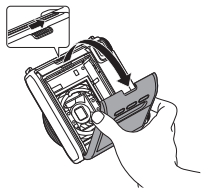
⚠ CAUTION



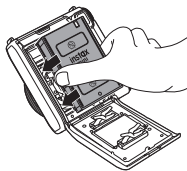
JP 三脚を使用する場合は必ず付属の三脚穴付きボトムグリップをカメラに装着するか、三脚からカメラを外してフィルムを交換してください。



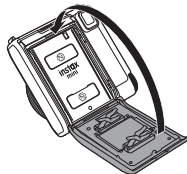
1



2



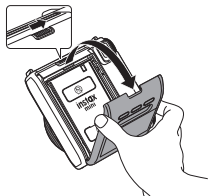
3



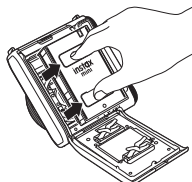
4



1



2



カメラをお使いになる前に

カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

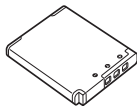
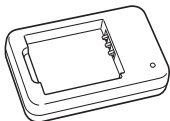
付属品一覧

- ショルダーストラップ (1本)
- USB Type-C ケーブル (1本)

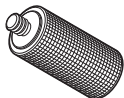


(B038A34001)

- バッテリーチャージャーBC-70C
- 充電式バッテリー NP-70S



- 三脚穴付きボトムグリップ
- 使用説明書(本書)



- ショルダーストラップは肩に掛けて使用し、首には掛けしないでください。
- ショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。ご使用になる前に必ず充電してください。
- 三脚を使用してフィルムの出し入れを行う際は、付属の三脚穴付きボトムグリップを使用してください。

本書は本製品の基本的な使い方や使用上の注意事項について説明しています。

バッテリーを廃棄するときの注意

この製品に使用しているバッテリーは、リサイクルできません。

一般ゴミなどとは一緒に廃棄しないでください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて

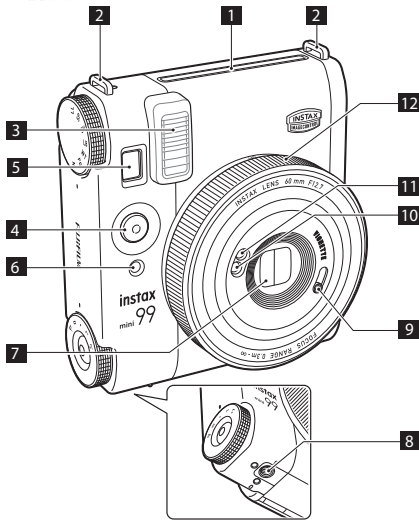


小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りの排出協力店・排出協力自治体にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

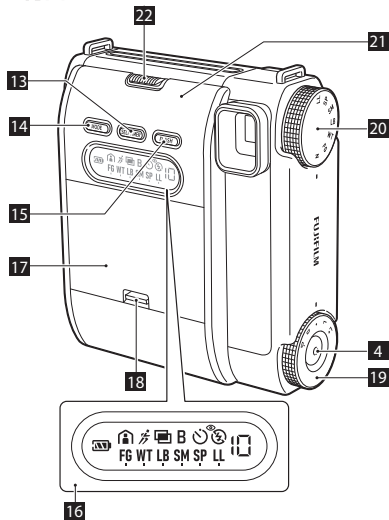
各部の名称

前面



- 1** フィルム排出口
プリント時に露光されたフィルムが出てきます。
- 2** ストラップフック
ストラップの紐を通してストラップを取り付けます。

背面



- 3** フラッシュ
設定に応じてフラッシュが発光します。
- 4** シャッターボタン
ボタンを押すと、カメラのシャッターが切れて写真が撮れます。

5 ファインダー

撮影範囲を確認するための覗き窓です。ファインダーを覗く時は、ファインダー内の○が中央に見えるように、正面から覗いてください。

6 セルフタイマーランプ

セルフタイマーを使用して撮影するときに点滅します。

7 撮影レンズ/レンズカバー

カメラの撮影用レンズです。撮影するときはレンズに指などが掛からないようにしてください。

8 三脚穴

三脚に固定するためのネジ穴です。

9 マニュアルピネットスイッチ

ピネットモードを使用するためのスイッチです。ON/OFFにて切り替えができます(P.13)。

10 フラッシュ受光部

フラッシュの明るさを検知するセンサーです。

11 AE受光部

周囲の明るさを検知するセンサーです。

12 レンズダイヤル

レンズダイヤルを回すと電源が入ります。焦点距離に応じて遠景モードやマクロモードに設定できます。

13 セルフタイマーボタン

セルフタイマーボタンを1回押すことで、モード表示部にセルフタイマーアイコンが表示されます。その状態でシャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが約7秒間点灯し、その後約3秒間点滅してからシャッターが切れます。

14 MODEボタン

撮影モードを変更することができます。「標準モード(表示なし)」からMODEボタンを押すごとに、「インドアモード」→「スポーツモード」→「二重露光」→「バルブモード」と切り替わります。

15 フラッシュボタン

フラッシュの機能を選ぶことができます。「表示なし(オート)」からフラッシュボタンを押すごとに、「強制発光」→「赤目補正」→「発光禁止」と切り替わります。

16 モード表示部

操作に応じたアイコンが表示されます。

17 電池ふた

バッテリーを出し入れするためのふたです。フィルムパックをセットする前に、必ずバッテリーをフル充電してから入れてください。

18 電池ふたロック

つまみを引き上げることでふたを開くことができます。

19 濃淡調整ダイヤル

ダイヤルを回すことで、5段階の濃淡調整が可能です。

20 カラーエフェクトダイヤル

ダイヤルを回すことで、6種類のカラーエフェクトを選択することができます。

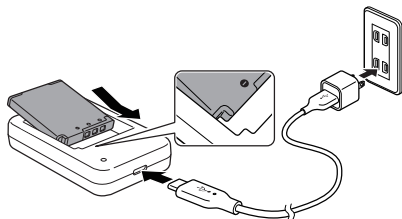
21 フィルムドア

フィルムを出し入れするためのドアです。

22 フィルムドアロック

フィルムドアが開かないようにする留め具です。スライドさせてロックを外し、フィルムドアを開きます。

バッテリーを充電する



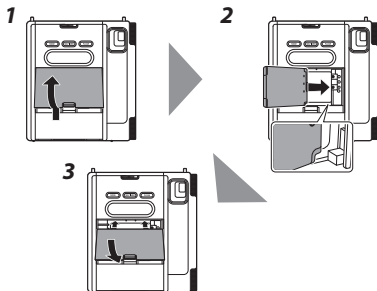
- 1 バッテリーを充電器に取り付けます。
バッテリーの向きを確認し、充電器の形状に合わせてバッテリーを取り付けてください。
- 2 図のように、充電器、USB Type-Cケーブル、変換アダプタを接続します。
接続すると充電が開始されます。
※ 変換アダプタは別売りです

- 充電時間の目安は約 1 ～ 2 時間です。
- 充電が始まると充電器の丸いランプが点灯します。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなる場合があります。

■ 充電状態の表示について

充電中	LEDが橙色に点灯します。
充電完了	LEDが緑色に点灯します。
充電エラー	LEDが橙色に点滅します。

バッテリーを入れる



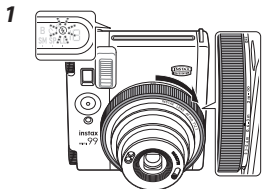
電池ぶたのつまみを押し上げ、電池ぶたを取り外します。バッテリーとカメラの形状と端子部の位置を合わせて、左から右にスライドするようにバッテリーをはめ込み、ぶたを閉じます。

バッテリー残量の確認方法

バッテリー残量は、モード表示部のバッテリーアイコンで確認することができます。

バッテリーアイコン	バッテリーの状態
	充電されています。
	少なくなっています。
	残りわずかです。
(点滅)	残量がありません。

撮影する



レンズダイヤルを回し、電源を入れます。モード表示部のバッテリーマーク、フィルムカウンター、(設定されている場合) カラーエフェクトが点灯します。

※フラッシュマーク(上図)が点滅しますが、点滅中はフラッシュ充電中の為、撮影することはできません。



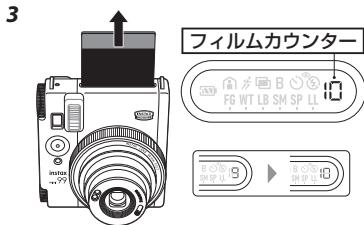
縦位置撮影ではカメラ前面のシャッターボタンを使用します。



横位置撮影ではカメラ側面のシャッターボタンを使用します。

構図を決め、シャッターボタンを押します。

- 指やストラップがフラッシュ発光部、測光部、撮影レンズ、フィルム排出口に掛からないように注意してください。
- ファインダーを覗くときは、ファインダー内の○が中央に見えるように、正面から覗いてください。
- マクロモードでのファインダーケラレは撮影には影響しません。



フィルムカウンター

液晶のフィルムカウンターが「10」から減っていく、最後の1枚を撮り終わると「0」が表示されます。



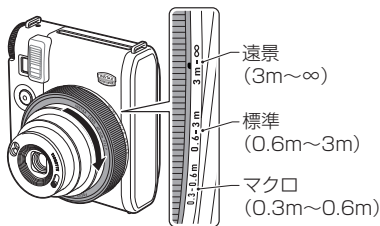
- フィルムの現像時間は約90秒です(気温によって時間は変動します)。

フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出します。

被写体にあわせた撮影をする

標準・遠景・マクロモードで撮影する

レンズダイヤルを回すと、撮影モードの切り替えが可能です。遠景→標準→マクロと遷移します。



セルフタイマーを使用する

セルフタイマーで撮影します。



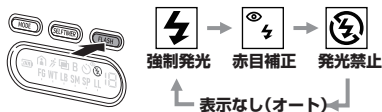
- 1 セルフタイマーボタンを1回押します。セルフタイマーランプが点灯します。
※フィルムバックが入っていない状態でセルフタイマーアイコンは表示されません。



- 2 シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。その後、約3秒間点滅してからシャッターが切れます。

フラッシュを使って撮影する

撮影の目的に応じて、フラッシュの機能を選ぶことができます。フラッシュボタンを押して、使用したい機能を選んでください。



■ フラッシュの機能について

表示なし(オート) 撮影環境に応じて、フラッシュの適用有無や明るさを自動調整します。



強制発光

周囲の明るさに関係なく、フラッシュを発光させて撮影したい場合に使用します。逆光時に被写体を明るく写すことができます。



赤目補正

目が赤く写る現象を低減したい場合に使用します。シャッターが切れる前にフラッシュが3回発光(プレ発光)します。



発光禁止

フラッシュの使用が禁止されている場所での撮影や、フラッシュを使用せずに撮影したい場合に使用します。

- ①が点滅している場合は、手ブレにご注意ください。
- 照明の影響で写真が青緑っぽくなったり、赤っぽくなったり、適切な明るさで写らない場合があります。

いろいろな設定で撮影する

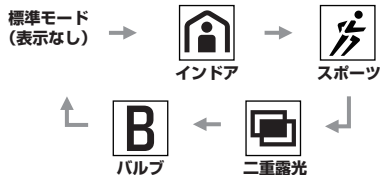
撮影モードの選び方

MODEボタンを押します。

選んだ撮影モードアイコンが点灯します。



MODEボタンを押すごとに、撮影モードが以下のように切り替わります。



- ・シャッターを切っても設定は変わりません。
- ・電源を切ると標準モードに戻ります。

■ 撮影モードについて

表示
なし

標準モード

通常の撮影に使用します。

周囲の明るさに応じてフラッシュとシャッタースピードが自動調整されます。



インドア

スローシャッターを使用し、明かりが入りにくい環境下で、背景をより明るく撮影します。



スポーツ

動きの速い被写体のブレを低減したい場合に使用します。



二重露光

1枚のフィルムで2つの画像を撮影します。1つ目の被写体を撮影するとアイコンが点滅するので、そのあとに2つ目の被写体を撮影します。

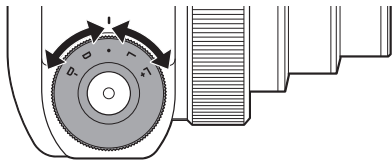


バルブ

シャッターボタンを押している間、シャッターが開きます（最長10秒）。夜景などの撮影に使用します。このモードを使用するときは、テーブルや三脚などでカメラを固定してください。

写真の濃淡を調節する

写真の明るさを変えて撮影することができます。ダイヤルを回し、明るさを選びます。標準設定を含め、L+～D-まで選択可能です。



■ 濃淡の設定



より明るく

最も明るく撮影されます。Lモード撮影時より明るくしたい場合に使います。



明るく

写真全体が明るめに撮影されます。被写体が暗い感じに写ったときに試してください。



標準

標準的な明るさで撮影できるモードです。



暗く

写真全体が暗めに撮影されます。被写体が白っぽく写ったときに設定してください。

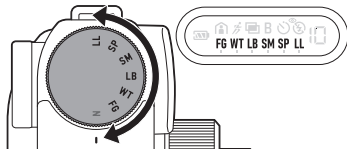


より暗く

写真全体がより暗めに撮影されます。白飛びするようなケースで改善が期待できます。

写真にさまざまなエフェクトをかける

カラーエフェクトを適用することで、さまざまな効果を施した写真を撮ることができます。撮影時にカメラ内部搭載のLEDが発光する、6種類のエフェクト選択可能です。なお、選択したエフェクトはLCDに表示されます。



■ モードについて

FG

Faded Green (フェーデッドグリーン)

やや緑がかった、クラシカルなフィルム調を再現します。

WT

Warm Tone (ウォームトーン)

暖かい色味で、写真を情緒的に演出します。

LB

Light Blue (ライトブルー)

淡い青味で、優しく軽やか、さわやかな雰囲気演出します。

SM

Soft Magenta (ソフトマゼンタ)

少し赤味を含んだフィルム写真をイメージします。

SP

Sepia (セピア)

黄味の色ムラで、昔ながらの写真表現を再現します。

LL

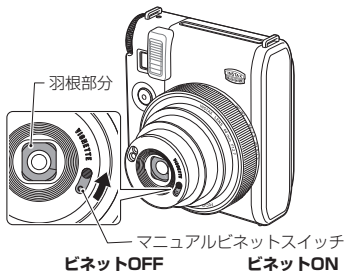
Light Leak (ライトリーク)

フィルムカメラの光漏れを、幻想的に再現します。

撮影条件により、エフェクト使用時のカメラ内部搭載のLED光が写真の四隅に行き渡らないことがあります。

ビネットモードで撮影する

カメラにはレンズ開口部を狭め、周辺光量の落ちた写真を撮影できるビネットモードが搭載されています。写真の中心部をフォーカスするアーティスティックな写真を撮影することが可能です。



「マニュアルビネットスイッチ」をスライドさせると、レンズ内の羽根がせり出します。そのまま撮影することでビネット機能が適用されます。

※撮影条件によってビネット効果がかかりにくい場合があります。

❗ レンズ内の羽根部分に手を触れないでください。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は、以下の通りです。

■ 標準モード(撮影範囲: 0.6m~3.0m)・遠景モード(撮影範囲: 3.0m~∞)

✓: 選択可、■: 選択不可

	D-	D	•	L	L+	⚡	⚡ #2	Ⓜ	⌚	カラー エフェクト
Default*1	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	■	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	■	✓	✓
	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓*4
B*5	✓*7	✓*7	✓*6	✓*7	✓*7	✓	✓	✓*8	■	✓

■ マクロモード(撮影範囲: 0.3m~0.6m)

	D-	D	•	L	L+	⚡	⚡ #2	Ⓜ	⌚	カラー エフェクト
Default*1	✓	✓	✓	✓	*3	✓	✓	✓	✓	✓
	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	✓	✓	✓	✓	*3	✓	✓	✓	✓	✓*4
B*5	✓*7	✓*7	✓*6	✓*7	*3	✓	✓	✓*8	■	✓

*1 「Default」は、通常の撮影モード(表示なし)を表します。

*2 周囲の明るさに関係なく、フラッシュが発光します。

*3 マクロモード使用時は、Lモードになります。

*4 二重露光では、カラーエフェクトの適応は、1回目または2回目の露光のいずれか1回です。

*5 バルブモードでは自動発光を選ぶことはできません。

*6 発光禁止と強制発光と赤目補正が使用できます。

*7 強制発光と赤目補正が使用できます。

*8 濃淡の調整がノーマル(•)のときのみ、発光禁止が設定可能です。

撮影時の注意事項

カメラを構えるときの注意



正しい持ち方



フラッシュ受光部、AE受光部に指を掛けない



フラッシュ発光部に指を掛けない

- 指やストラップがフラッシュ受光部、AE受光部、フラッシュ発光部、撮影レンズ、フィルム排出口に掛からないように注意してください。
- 横位置撮影では、フラッシュ発光部が上になるように構えてください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所ではフラッシュを発光禁止に設定してお使いください。
- 構えるときはレンズ部を持たないでください。写真が正しく写らない場合があります。
- ファインダーを覗くときは、ファインダー内の○が中央に見えるように、覗いてください。(マクロモード設定時に鏡胴の一部が映り込みますが、実際の撮影範囲には影響しません)
- シャッターボタンを押すときは、撮影レンズに触れないように注意してください。
- 暗いところで撮影する場合は、スローシャッターとなる場合があるため、手ブレ防止のためにカメラをしっかり持って撮影してください。

撮影時の距離について

- 標準モードでは、撮影対象から0.6m以上離れて撮影してください。また、フラッシュの光が届く範囲は約2.7mです。

セルフタイマーランプの表示とエラー対処方法

セルフタイマーランプの状態	説明
セルフタイマーランプが点灯(7秒)→セルフタイマーランプが点滅(3秒)	セルフタイマーがセットされ撮影のタイミングをお知らせします。
セルフタイマーランプが点滅 LCDのフィルム残量表示がE点滅	何らかのエラーが発生しています。 <ul style="list-style-type: none">フィルムが詰まっています。レンズダイヤルの位置が正しくありません。その他のエラー
セルフタイマーランプが点滅 バッテリー残量表示が点滅	バッテリー温度が異常です。 <ul style="list-style-type: none">LCDのフィルム残量表示がL表示:低温異常LCDのフィルム残量表示がH表示:高温異常

このようなときは

主なエラー	原因と対処方法
LCDのバッテリーアイコンが点滅	バッテリーの電圧が不足 バッテリーを充電してください。
フィルム詰まり	無理にフィルムを引き出さず、バッテリーを取り外し、バッテリーを充電し再度取り付けてください。フィルムを排出できることがあります。

バッテリーと充電器のFAQ	原因と対処方法
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの端子が汚れていませんか？ バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。 • 同じバッテリーを長期間使っていませんか？ バッテリー寿命の可能性があり ます。新品のバッテリーと交換してください。
充電が始まらない。	充電器、ケーブル、バッテリーは正しく接続されていますか？ ご確認の上、充電してください。
充電に時間がかかる。	非常に寒いところや暑いところで充電を行っていませんか？ 低温時や高温時は、充電時間が長くなる場合があります。

充電中に充電ランプが点滅して充電できない。	バッテリーの温度が高すぎたり低すぎたりしていませんか？ バッテリーの温度が安定してから再度充電し直してください。
-----------------------	---

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになったあとで、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- ⚠ 絶対に分解しないでください。感電の原因になることがあります。
- ⚠ 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があるため感電の原因になることがあります。
- ⚠ カメラ、バッテリーが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちにバッテリーを取り出してください。発火ややけどの原因になることがあります(バッテリーを取り出す際、やけどには充分ご注意ください)。
- ⚠ 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

- ⚠ カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物が入ったときは、ただちにバッテリーを取り出してください。発熱・発火の原因になることがあります。
- ⚠ 引火性の高いガスが充填している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になることがあります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。
- ⚠ バッテリーの分解、加熱、火中への投入、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になることがあります。
- ⚠ 指定以外のバッテリーを使わないでください。発熱・発火の原因になることがあります。
- ⚠ バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になることがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

- ⚠ 故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずにお買い上げ店にご相談ください。
- ⚠ フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。
- ⚠ カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。
- ⚠ 小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。
- ⚠ 本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
- ⚠ フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

△ カメラ内側の可動部には触れないでください。けがの原因となることがあります。



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとは「Conformité Européenne」の略）

■ 本製品が適合している規制関連の表示は、カメラの裏ぶたの内側にあります。

取扱上のお願

■ カメラの取り扱い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
2. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
3. フィルム室に汚れやほこりがあると、プリントの仕上がりに影響します。フィルム室に汚れやほこりがつかないようにご注意ください。
4. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
5. 防虫剤に含まれているガスは、カメラやフィルムに有害となる場合がありますので、たんすなどへの収納は避けてください。
6. このカメラの使用温度範囲は+5℃から+40℃です。
7. 撮影される場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分ご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。
8. このカメラは一般のご家庭向けのものです。業務用の撮影など、大量にプリントする用途には適していません。
9. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、スマートフォン用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
10. 長期間お使いにならないときは、バッテリーを取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。

11. ファインダーなどが汚れたら、ブローブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。

■ 出力中の注意事項



■ フィルム、写真の取り扱い

フィルム、写真の取り扱いかたについては、富士フィルム インスタントフィルム "instax mini" の箱に記載されている取扱説明を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早くプリントしてください。
4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。
6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします（詳しくは各空港でご確認ください）。
7. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよ

う注意してください。また、ペーストが皮膚や衣服につかないようにしてください。

8. 誤って未使用フィルムのペーストに触れたときは、速やかに水で十分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗ったあとに医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出てから約10分間でアルカリ性が弱まります。
9. 撮影した写真を密閉した袋などに入れると、写真が変色する場合がありますので、密閉した状態では保管しないでください。
10. 現象中は画像に触れないでください。

- #### ■ フィルムや出来上がった写真を取り扱うときの注意
- 詳細は、富士フィルム インスタントフィルム "instax mini" の取扱説明を参照してください。



バッテリーの取り扱いについて

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⚠ 指定外の方法でバッテリーを使用しない。バッテリーは極性(⊕⊖)表示どおりに入れてください。
- ⚠ バッテリーを分解、加工、加熱しないでください。バッテリーを落としたり、衝撃を加えないでください。バッテリーをショートさせないでください。バッテリーを金属製品と一緒に保管しないでください。バッテリーを指定以外の充電器で充電しないでください。バッテリーを火気に近づけたり火の中に入れてください。バッテリーの水にぬらさないでください。バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。
- ⚠ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災の原因になります。
- ⚠ バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがの恐れがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- ⚠ バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には指定されているバッテリーのみを使用してください。
- ⚠ 使用済みのバッテリーを廃棄する場合は、以下のようになしてください。
 - ・ 端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってから廃棄してください。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

- ⚠ お手入れの際や長時間使用しないときは、バッテリーを外してください。火災・感電の原因になることがあります。
- ⚠ 異常が起きたら電源を切り、バッテリーを外してください。煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。お買上げ店にご相談ください。
- ⚠ バッテリーの分解、加熱、火中への投入、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になることがあります。
- ⚠ 指定以外のバッテリーを使わないでください。発熱・発火の原因になることがあります。
- ⚠ バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になることがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。
- ⚠ バッテリーの⊕⊖を誤って装填しないようにご注意ください。カメラの破損やバッテリーの液漏れにより周囲を汚損する原因となることがあります。

電源についてのご注意

バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、バッテリーの寿命が短くなるばかりではなく、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

- ※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、端子が金属に接触しないように保護してください。

■ バッテリーの特性

- ・ バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。カメラを使用する直前(1~2日前)に充電したバッテリーを用意してください。
- ・ バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。

- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、カメラを使用する直前に取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 付属のUSBケーブルと充電器を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が+5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 満充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、満充電の状態を避けて保存してください。
- 長期間使用しないときは、必ずバッテリーをカメラから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。

- 周囲の温度が+15℃～+25℃位の乾燥したところをおすすめします。
- 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

■ 使用上のご注意

- バッテリーにラベルなどを貼らないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。

仕様

使用フィルム	富士フィルム インスタントフィルム instax mini
写真画面サイズ	62 mm × 46 mm
レンズ	沈胴式レンズ 2群2枚構成 f=60mm 1:12.7
ファインダー	実像式ファインダー 0.37倍 ターゲットマーク付き マクロモード用視差補正機能付き
撮影範囲	手動3点切り替え式(0.3m～ 0.6m/0.6m～3.0m/3.0m～ ∞) 撮影範囲:0.3m～∞
シャッター	プログラム式電子シャッター 1.8 秒～1/400秒 バルブモード(開放時間 最大10 秒) シャッターボタン(縦位置撮影/ 横位置撮影)
露光調節	自動調節 連動範囲:LV5.0～ 14.8(ISO 800) 露光補正(濃淡コントロール): -5/3EV、-2/3EV、+2/3EV、 +1EV
フィルム送り出し	電動式(自動排出)
フィルム現像時間	約90秒(現像時間は気温によって 変動します)

フラッシュ	自動発光オートフラッシュ(自動 調光)、インドアモード(スローシ ンクロフラッシュ)、強制発光モ ード、発光禁止モード、赤目補正 モード 充電時間:6.5秒以内(フル充電 バッテリー使用時) フラッシュ撮影距離:0.3m～ 2.7m
電源	バッテリー NP-70S(1個) 撮影可能枚数:約10バック(当社 試験条件による)
オートパワーオフ 時間	5分間
セルフタイマー	電子式 作動時間:約10秒
液晶表示	撮影モード(インドア、スポーツ、 2重露光、バルブ)フラッシュ制御 モード、セルフタイマーモード バッテリー残量、カラーエフェク ト、 フィルムカウンター(残数表示式)
その他	三脚穴、マニュアルピネットス イッチ
大きさ:(W×H× D)	103.5mm×117.5mm× 60.0mm(突起部除く)
質量	340g(バッテリー、ストラップ、 フィルム別)

充電式バッテリーNP-70S

公称電圧	DC 3.6V
定格容量	680 mAh
使用温度	5℃～40℃
外形寸法	34.5mm × 41.0mm × 5.5mm (幅×高さ×厚み)
質量	約14.5g

バッテリーチャージャーBC-70C

定格入力	DC 5.1V 530mA max
定格出力	DC 4.2V 550mA max
適合バッテリー	FUJIFILM充電式バッテリー NP-70S(リチウムイオンタイプ)
充電時間	約1～2時間
使用温度	5℃～40℃
外形寸法	48.0mm × 76.0mm × 15.0mm (幅×高さ×厚み)
質量	約50g(本体のみ)

仕様、性能は、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただけます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましては、富士フィルムフィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

* 詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

■ 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少違いますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。


1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

● 本製品に関するお問い合わせ
富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口

 0570-04-1640(ナビダイヤル)



● 修理に関するお問い合わせ
富士フィルム フィルムカメラ修理相談窓口

 0570-06-6092(ナビダイヤル)



- ▶各窓口の受付時間・サービス内容は、予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。
- ▶富士フィルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただくことがあります。

最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。
富士フィルムホームページ:<https://www.fujifilm.com/jp/ja>

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN